



富 建 幹 第 5 号  
平成 19 年 4 月 26 日

国土交通省道路局長 様

富良野市長 能 登 芳



中期的な計画の作成にあたっての意見書の提出について(回答)

貴職におかれましては、日頃より本市の道路事業にあたり特段のご配慮いただき厚く御礼申し上げます。

さて、平成 19 年 4 月 2 日付、国道企第 114 号にて依頼のありました、中期計画作成にあたっての意見書を別紙のとおり提出いたしますので、よろしく願いいたします。

記

1. 今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見  
別紙意見書のとおり
2. 担当課 富良野市建設水道部 幹線道路整備推進課

## 中期的な計画の策定にあたっての意見

意見者：北海道 富良野市長 能 登 芳 昭

### 1. 重点化を進める上で特に優先度の高い施策として

北海道上川地方は、これまで6期にわたる北海道総合開発計画に基づく社会資本の整備により、日本を代表する食料生産基地として発展してきたところがあります。とりわけ、旭川・美瑛・富良野地域においては豊かな大地と自然景観により、農業生産はもとより全国有数の観光地としても発展してきているところでもあります。

しかしながら、広大な土地を有し、積雪寒冷地域である上川地域は厳しい気象条件と広域分散型の地域特性の下、物流ネットワークの整備や生活基盤の整備、安全性の高い国土保全などの面において、社会資本の整備は未だ十分とは言えない状況であります。また、上川中部・南部圏域は北海道の中央に位置しておりますが、依然として高規格幹線道路の空白地帯となっております。北海道縦貫道自動車道と北海道横断自動車道については、計画的に整備推進されてきているところではありますが、これをつなぐ地域高規格道路「旭川・十勝道路」の整備は始まったばかりであり、北海道及び地域経済の活性化においても重要な路線で、早急な整備が求められております。

このことから、北海道上川中部・南部圏域が我が国の安全かつ良質な食糧基地として、観光地帯として発展し、その役割が十分果たせるよう、下記について優先度の高い事項として提言いたします。

- ・ 新たな北海道総合開発計画の策定と、これに基づく社会資本整備の着実な推進について提言します。
- ・ 広域分散型社会の北海道における物流拠点と観光拠点、生産地を結ぶ高規格幹線道路及び地域高規格道路「旭川・十勝道路」の整備推進を提言します。
- ・ 積雪寒冷地域である北海道の冬季交通の安全を確保するため、交通環境の改善と計画的な維持による交通確保を提言します。
- ・ 「大雪・富良野ルート」を始めとするシーニックバイウェイ活動を推進し、地域の活性化と・地域協働の舞台作りを重点とする施策を提言します。

### 2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

これからの道路行政を進める上で、厳しい財政状況の中、効率化・柔軟性がさらに求められるのは必要かつ重要なことであり、この視点に立った提言をします。

- ・ 施策の推進に当たっては、優先順位を考慮した重点的な投資が必要であり、その整備効果と優先度が科学的根拠により明示され、十分な説明責任が果たされることが重要であります。
- ・ 地域高規格道路の事業計画にあっては、既存道路を有効活用した道路施策に柔軟にシフトし、短期間で効果が発揮できる道路整備計画が求められます。

### 3. その他、道路施策や道路の整備・管理全般に関する意見

- ・ 既存道路維持管理については、適切なメンテナンスによる道路構造物の長寿命化を図るべきと考えます。
- ・ 死亡事故の多い北海道において、安全・安心を高めるために歩道空間の確保、観光地周辺の交通円滑化対策、冬季交通対策が必要不可欠と考えます。

以上中期的な計画策定における提言といたします。